

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 金沢市立押野小学校
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫
 中学校 中高一貫 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他（例：小中高一貫）
所在地 〒921-8064
石川県金沢市八日市1丁目176番地
E-mail oshino-e@kanazawa-city.ed.jp
Website <http://www.kanazawa-city.ed.jp/oshino-e/>
幼児児童生徒数 男子 245 名 女子 248 名 合計 493 名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

(1) 活動の概要

本校は、ユネスコスクールの認定を受けて9年目、地域や地域に暮らす人々、共に学ぶ仲間、自分たちの生活を取り巻く人々とのかかわりを主要テーマとし、総合的な学習の時間を中心とした持続発展教育の実践に取り組んでいる。「つながろう！地域と人と」をスローガンに掲げ、具体的には①「地域・文化・伝統」②「自然・環境」③「福祉・健康、人・自分」を小テーマとして学習をすすめてきた。地域を中心とした中学年での学習を受け、より広い視野で学ぶ高学年へと学びのつながりを意識し、「ひと・もの・こと」とのかかわりを構築できるよう取り組んできた。以下、取組の中心となったものを記述する。

① 「地域・文化・伝統」に係わる活動

ア 押野校区の様子、昔の遊び、校区に伝わる昔話や踊り、金沢の歴史や伝統工芸について調べ、金沢のよさに気づき、よりよい町づくりについて考える。(3・4年)

3・4年生では、体育科との関連を図りながら、地域に伝わる踊りである「押野じょんから」を運動会での団体演技に取り入れた。振り付けの意味等、自分たちの考えを地域の方々と交流することを通して、地域の歴史、よさ、人とのかかわりについて考えることができた。その際、3年生は、昨年度に一度学んでいる4年生と共に学ぶ場を設定することで、学びのつながりをつくり出すことができた。



イ 校区に対する関心を高めると共に、市や県の文化や伝統について調べ、郷土を愛する心情を育てると共に郷土に対する誇りをもつ。(3・6年)

3年生は、実際に和菓子作り体験に取り組んだり、和菓子に携わる職人と出会い職人技に触れたりしたことで、和菓子の奥深さを実感することができた。そして、金沢の和菓子を見つめ直し、そのよさを一人一人が自分なりに捉えることができた。



6年生は、金沢の魅力を追究する中で、その歴史や特徴、見どころやその由来などを学んだ。資料やインターネットを用いて、歴史的建造物の美しさや町並み、その背景にある歴史や昔の人々の知恵や技術の素晴らしさを調べ、この良さをこれからも守り続けていきたい、多くの人に知ってもらいたいという思いをもつことができた。また、金沢の魅力を未来につなげていくために、自分たちにできることは何かを考えさせることで、郷土を愛する心情を育むことができた。

② 「自然・環境」に係わる活動

5年生では、学校田の荒起こしから始まった米づくりの体験活動を通して、米づくりに携わる農家の方の苦労や工夫を実感することができた。また、米づくりの先生とのふれ合いや、育てた米を食べることを通して、米一粒に込められた思いを学ぶこともできた。そして、加賀野菜については、一人一課題で調べ、現状を示したグラフを活用するなど発信方法を工夫し、友だち・保護者の方に発信することができた。



ものの見方や考え方を広げると共に、金沢の自然や環境についても触れて学ぶ良い機会となった。

③ 「福祉・健康、国際理解、人・自分」に係わる活動

ア 障がいのある人たちのことを調べ、人と人が共に生きるための工夫を考える。また、積極的に人と交流し、そのよさを感じとりながら、人とのつながりを大切にする意識を高め、これまでの自分を振り返ると共にこれからの生き方について考える。(4・6年)



4年生では、いろいろな立場の人(障がいのある方、お年寄りの方)たちのことを調べ、まとめ、互いに交流し合うことで共に生きる価値について考えを広げることができた。3月始めには保護者の方々を招き、1/2成人式を行った。自分の過去から現在について家族とのかかわりをもとに調べ、自分自身を振り返ることができた。また、10年後の自分や夢について思いを巡らせ、想像することを通して、これからの自分の したり、どうすれば相手に自分の思い

が伝わるか考えたりすることができた。また、1/2 成人式を開催するために、プログラムの作成や場の設定など、自分たちで企画し運営する経験もすることができた。その中で、仲間とのつながりへの価値を見出すことができた。

6年生では、卒業に向けて取組をすすめる中で、自らの成長を支えてくれた人々とのかかわりを見つめ、これからの生き方を再考するきっかけをつくることができた。

これらを通し、共に学ぶ仲間の思いを知り、共に夢に向かって成長する仲間としてのつながりを強くすることができたと考える。加えて、今の自分の存在をこれまでの成長とつなげて考えられる子への育ちが見られた。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）



- ・ いいね金沢 加賀野菜パンフレット
加賀野菜レシピ集 など…加賀野菜に関する本
- ・ 華やか金沢 など…偉人に関する本
- ・ 米作りのひみつ など…農業に関する本

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。

押野小学校では、横断的・総合的な学習や探求的な活動を通して、各教科等を越えた学習の基盤となる資質・能力を育成するために、各学年にESDカレンダーを作成し、指導方法の工夫改善に努めている。

平成29年度年間指導計画 ESDカレンダー 3年生

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語科			ほうこくする文章を書こう～気になる記号	用件や気持ちが変わるように書こう/「ありがとう」を伝えよう			せつめいのしかたを考えよう～すがたをかえる大豆			しりょうからわかったことをすし道を立てて話そう～しりょうから分かる小学生のこと	本で調べて、ほうこくする文章を書こう～ことわざについて調べよう	
社会科	わたしたちのまちみんなのまち～学校のまわり～市の様子					はたらく人とわたしたちのくらし～店ではたらく人～工場の仕事（和菓子を作る工場）						
算数科												
理科												
音楽科												
図工科												
体育科		表現運動（リズムダンス）										
道徳		伝統を受け継ぐ郷土愛								受け継がれてきた文化を大切に守り継承 伝統を受け継ぐ 郷土愛		
学級活動										新しい年をむかえて		
総合的な学習の時間		もっと知りたい私たちの押野 金沢の伝統行事を学ぶ（金沢ふるさと学習）					和菓子を学ぶパート1～押野の和菓子（金沢ふるさと学習）			和菓子を学ぶパート2～金沢の和菓子（金沢ふるさと学習）		
英語科												
主な学校行事										授業参観		

平成29年度年間指導計画 ESDカレンダー 4年生

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語科	よりよい話し合いをしよう					たれもがかかわり合えるように						
社会科								用水を開く				
算数科												
理科												
音楽科												
図工科								ミュージアムクルーズ				
体育科		表現運動（リズムダンス）										
道徳										なんとなく（信頼）	あなたがもつ生きる力（生命尊重）	だがし屋のおばあちゃん（尊敬・感謝）お母さんへのタイムマシン（個性の尊重）お母さんとの約束（動物）
学級活動	新しい学年になって							お年寄りや障害者と共に				
総合的な学習		共に生きる		金沢の偉人を学ぶ（金沢ふるさと学習） 金沢の伝統工芸を学ぶ（金箔体験）			障害者やお年寄りとともに生きる（車いす・アイマスク体験）	家族や友だちと共に生きる（1/2成人式）				共に生きる（一年間のふりかえり、私たちにできること）
英語科												
主な学校行事	1年生を迎える会	運動会					ふれあい読書			授業参観		

平成29年度年間指導計画 ESDカレンダー 5年生

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語科			敬語					グラフや表を用いて書こう				
社会科	私たちの国土と環境		米作りのさかんな庄内平野 これからの食料生産とわたしたち				自動車をつくる工業				私たちの生活と環境	
算数科												
理科		植物の発芽と成長	魚のたんじょう			花から実へ	流れる水のはたらき				人のたんじょう	
音楽科												
図工科												
家庭科									笑って元気に			
体育科												
道徳	福祉とともに生きる						世界のトンボ保護区づくり					
学活												
総合的な学習	みつめよう私たちの環境			米作りと環境						人と環境 (金沢ふるさと学習)		
英語科												

平成29年度年間指導計画 ESDカレンダー 6年生

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語科			町のよさを伝えるパンフレットを作ろう			意見を聞き合って考えを深め、意見文を書こう				筆者の考えをとらえ、自分の考えと比較して書こう		話し方を工夫し、資料を示しスピーチをしよう
社会科										わたしたちの願いを実現する政治	日本とつながりが深い国々	世界の平和と日本の役割
算数科									資料の調べ方			
理科	地球と生き物のくらし		生き物のくらしとかんきょう								人とかんきょう	
音楽科	学校の歌・金沢の歌										音楽の楽しさを味わおう	
図工科											12年後の私	
家庭科											書えようこれからの生活	成長した私たる
体育科		表現運動(苦い力)										
道徳		気持ちを伝える言葉		班長になったら		千年の瓦をつくる		米百俵		ぼくの仕事は便所そうじ		
学級活動	6年生になって									卒業へ向けて	6年生をきける年に向けて	卒業式を迎える
総合的な学習	自分を見つめよう		金沢の歴史や伝統を調べ知ろう (金沢ふるさと学習)			金沢の魅力を実感し、発信しよう (金沢ふるさと学習)			金沢の目指す都市像を調べ、まちの未来を創造しよう (金沢ふるさと学習)		卒業に向けて	
英語科										A Special Guest Visits Our School		

※7月～8月ごろに教科部会を校内で開き、カリキュラム作成に向けた話し合いを行い更新していく予定である。

③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。

上記の ESD カレンダーを作成するとともに、年度初めに全体計画を提案し、共通理解を図っている。また、外部講師等の連絡先を記録し引き継ぐことで、学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくっている。

- ④ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。

学校評価アンケートの中で「金沢ふるさと学習において、金沢の多様な素材や人材を活用し、金沢について学び、考え、かかわり、広める学習を実践している」という項目で評価を行った。

□成果

職人さんや農家の人など、本物から学ぶことができたのは大きな成果となった。また、多様な立場、多様な世代の方々とのつながりをもつことができ、様々な刺激を受けることができた。

□課題

校内の他学年や地域の方との交流を計画的に実施して、学びが高まるスパイラルが実現できるようにしていきたい。そのために、児童の主体的な学びが実現されるような教育課程の見直しや地域の人材活用をより充実させていきたい。

- ⑤ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。

- ①「金沢ユネスコスクールこどもサミット」に参加し、「総合的な学習の時間」に学習した内容や自分が学び、考えたことをポスターにまとめ、金沢市内の小学校と発表し合う。テーマ「自分たちのこれからの生き方について考えよう～ユネスコスクールの取組を通して～」について意見交換をする。
 - ②サミット参加前に、校内に向けて校内放送でサミットの発表を披露する。
 - ③サミット参加後に、全校に会の報告をする。
 - ④金沢市ふるさと学習作品展示会に、体験学習で制作した作品を展示し、押野小学校の取り組み状況を保護者や市民に広く発信する。
- ※そのことで、相手を意識した話し方ができ、コミュニケーション能力を高めることができた。

- ⑥学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成（地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など）

学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成には本校は取り組んでいない。

- ⑦国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成

「金沢ユネスコスクールこどもサミット」に参加し、金沢市内の小学校と発表し合う予定であったが、大雪のため今年度のユネスコスクールこどもサミットは中止となった。

- ⑧ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）

「自己の生き方について考えること」を意識して、調べたり、まとめたり、活動したりしたことで、現状の把握だけではなく、今自分ができることやこれからみんなで取り組んでいかなければいけないことについても考えられた。

（3）平成 30 年度の活動計画

平成 22 年度から金沢ユネスコ推進事業に加盟しており、今年は 9 年目。下記のようなねらいや計画で実施していく予定である。

テーマ

【地域・文化・伝統】

押野校区の様子、昔の遊び、校区に伝わる昔話や踊り、金沢の歴史や伝統工芸について調べ、金沢のよさに気づき、よりよい町づくりについて考える（3 年・4 年）。

校区に対する関心を高めると共に、市や県の文化や伝統について調べ、郷土を愛する心情を育てると共に、郷土に対する誇りがもてるようにする（3 年・6 年）。

【自然・環境】

ゴミの処理方法や身近な自然環境などについて調べることや米作りなどの体験活動を通して、環境問題について意識し、環境を守るために自分たちにできることは何かを考える。また、世界の環境問題について調べ、自分たちにできることは何かを考える（4 年・5 年）。

【福祉・健康、国際理解、人・自分】

障がいのある人たちのことを調べ、人と人々が共に生きるための工夫を考える。積極的に人と交流し、そのよさを感じるとりながら、人とのつながりを大切にする意識を高める。1/2 成人式、卒業に向けた取組などを通して、これまでの自分をふり返ると共に、これからの生き方について考える。（4 年・6 年）